

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共交通の計画・調整				整理番号	615		枝番号				
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	530			
係名		交通対策係			上位施策名				No				
予算事業名		公共交通体系の整備		コード	62350	道路交通体系の整備			5				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 3年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 駐車場法第2条の2 (2) 都区駐車場整備基金融資あっせん及び利子補給制度実施要綱 (3)								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他												
	区内在住、来訪者 区内駐車場建設をしようとする個人及び法人												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 交通政策の調査・研究及び交通事業者との連絡調整 東京都・東京都駐車場公社・23区共同による駐車場整備基金制度に基づく駐車場建設資金融資あっせん、利子補給の受付業務を行う。				活動指標名(式) (1) 交通事業者連絡会の開催回数 (2) 駐車場建設資金融資あっせん・利子補給受付件数(相談を含む)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 交通事業者との連絡を密にすることにより、公共交通利用者の利便性向上を図っていく。 駐車場整備による路上駐車解消及びそれに伴う交通渋滞の緩和				成果指標名(式) (1) 駐車場整備台数 (2) 融資件数/受付件数									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		回	2	2	2	2	2	2				
	活動指標(2)		件	3	2	2	1	2					
	成果指標(1)		台	30	0	30	0	30					
	成果指標(2)		件	1	0	1	0	1					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,885	30	48	20	47	特記事項				
	(内)委託費		千円	1,859									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.22	0.25	0.30	0.30	0.30	12年度 交通量調査委託料 1,858,500円			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,817	1,998	2,725	2,725	2,725					
		非常勤職員分	千円	0	734	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	3,702	2,762	2,773	2,745	2,772					
	単位あたりコスト ÷		円	1,851,000	1,381,000	1,386,500	1,372,500	1,386,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	3,702	2,762	2,773	2,745	2,772						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成2年における都内の違法駐車台数は20万台を越えたが、駐車場の整備などにより減少してきており、都内の違法駐車台数はここ数年11万台前後で推移している。杉並区においては、平成14年は前年に比べ減少傾向にある。違法駐車問題は都心部や繁華街において深刻化している。杉並区では、駐車場整備基金を活用し、5ヶ所168台の整備を行ってきた。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)												
	今後の予測		東京都は自動車利用の抑制、公共交通への乗換などのTDM(交通需要マネジメント)への取り組みを行っている。住宅都市杉並に比べ、都心部や繁華街における違法駐車対策の必要性が高い。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	50.0	14年度予算執行率%	41.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	区内においては、駐車場整備基金の制度に対する駐車場建設事業者からの申請・問い合わせが少ない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成13年度に基金制度のあり方について、改廃も含め検討されてきたが、平成14年度より融資あっせん対象範囲拡大や、融資利率の固定金利から変動金利への変更などを行い、同制度を継続していくことが決定された。駐車場整備基金の制度は都、公社及び23区共同で行っている事業であるが、駐車問題の現状及び対策への取り組みなどについては各区で温度差があるのが現状である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 小(理由) 改革案の概要へ) ▼	理由: 杉並区における駐車場整備基金制度による駐車場整備台数は現在まで168台であり、施策への貢献度は大きいとはいえない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ) ▼	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由: 駐車場基金融資あっせん制度の目的と杉並区における現状が必ずしも一致しておらず、成果の向上は難しい。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ▼	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか できる(改革案の概要へ) ▼	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 基金制度は15年度以降も継続であるので、基金の一部取り崩し等の措置は難しい。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 平成14年度より、融資対象の拡大がなされたため、駐車場整備基金融資あっせん制度に対する問い合わせが増える可能性はある。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 駐車場基金制度については、区単独ではなく、東京都・公社・区の共同事業であるため、三者での調整が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 駐車場基金制度は15年度以降も存続の予定である。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		南北バス運行				整理番号	616		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	532		
係名 交通対策係					上位施策名				No			
予算事業名 公共交通体系の整備					コード	62350		道路交通体系の整備		5		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				7年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第232条の2							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 道路運送法第4条							
	区内在住者、通勤・通学者、来訪者				(3) 杉並区南北バス交通運行協定書							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区南北バス交通「すぎ丸」(平成12年11月27日運行開始)の継続運行 杉並区南北バス交通新路線選定調査				活動指標名(式) (1) 南北バス「すぎ丸」運行本数 (2) 新路線運行全長(予定・各ルート案の平均)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内南北交通不便地域の解消を図り、移動困難者に対し交通手段を提供するとともに、地域間の交流を促進する。				成果指標名(式) (1) 南北バス「すぎ丸」年度総利用者数 (2) 南北バス「すぎ丸」年度1日平均利用者数								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		本	11,500		33,668		37,696	37,096	37,024		
	活動指標(2)		m					2,800	2,900	2,900		
	成果指標(1)		人	162,764		536,863		547,500	606,773	584,000		
	成果指標(2)		人			1,300		1,500	1,663	1,600		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	163,241		30,830		23,066	12,422	15,700	特記事項	
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	2.81		2.81	0.25	2.95		3.01		2.45
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	25,523		25,523		26,795	27,340		22,253
		非常勤職員分		千円	0		734		0	0		0
	総事業費 + +		千円	188,764		57,087		49,861	39,762	37,953		
	単位あたりコスト ÷		円	16,414		1,696		1,323	1,072	1,025		
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	20,591		7,500		7,500	6,500		6,500
		特定財源計 +		千円	20,591		7,500		7,500	6,500		6,500
差引:一般財源 -		千円	168,173		49,587		42,361	33,262	31,453			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		コミュニティバス「すぎ丸」(平成12年度11月27日運行開始)は、利用客も順調に推移し、区内南北の交通手段の一つとして定着。平成14年度より運行時間の延長も行っている。また、14年度には区で道路環境整備等による支援を行った永福町～松ノ木住宅～新高円寺・高円寺間の民間バス路線が運行を開始。そして、京王井の頭線浜田山駅以南の新規路線について路線選定のための基礎調査を行った。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区民の「すぎ丸」に対する評価は、運行システム、運行回数、運転士の対応等あらゆる面で高い。浜田山駅以南の新規路線についての区民意見提出手続きやグループヒアリング調査においては、当該地域のコミュニティバス運行に対する期待・関心が高いことが伺える。									
	今後の予測		南北の交通が不便であるという杉並区の交通特性、及び高齢化の進行により、浜田山駅以南地域の新路線への区民の関心はますます高まるものと思われる。それと同時に、他地域においても、交通不便解消の要望及び必要性も高まってくるのが予想される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	98.4	活動指標(2)の14年度達成率%	103.6	14年度予算執行率%	53.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	「すぎ丸」運行経費の赤字分に対する補助金が当初予算の50%以下であった。これは、「すぎ丸」利用者数の増加による収入の増加と、運行時間延長による運行経費の増大にもかかわらず、区とバス事業者との協議により、運行経費の削減に努めたことによる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	新規路線について、平成14年度には、当該路線のルート選定のための調査(ヒアリング調査、意見交換会等)を行い、平成15年度より具体的な調査・運行準備、平成16年度の運行開始へとつなげていく。「すぎ丸」については、区民サービスの拡充の一環として平成14年4月より運行時間の朝晩の延長を行い、より一層の利用客の増大を図った。また、平成14年度の運行経費については事業者との協議を重ね、運行時間延長による運行経費の増加を最小限に抑えている。これにより、運行経費に対する区からの補助金額は大幅に削減された。平成15年度の補助金予算額も削減されている。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:区内南北方向の交通改善により、高齢者や主婦等、昼間移動者をはじめとした沿線住民等の交通便利性向上といった直接的効果はもとより、地域間交流の促進、交通事故の防止、排気ガス減少、女性や児童の(夜道の一人歩きの減少等による)安全確保による地域改善、商業地域の活性化など波及的効果も見られる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:公共交通を住宅街に走らせるのは、民間バス事業者単独では道路幅の関係や収益が見込めない、等の問題から困難であり、もっとも身近な行政である区が先導となり、コミュニティバスのシステムを構築していく必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 対象の拡大	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:「すぎ丸」の需要が高い理由の一つは、100円という利用料金の設定である。これは、通常のバスの料金システムとは異なり、「すぎ丸」運行維持のための「会費」的な意味合いが強く、この変更は想定できない。この考え方は平成16年度運行開始予定の新規路線についても同様である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:コミュニティバスが継続的に安定した運行を行うには、区による運行経費への助成が不可欠である。しかし、利用客の増加、運行経費の抑制への努力は行っていく。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) (新規路線) ・平成16年度運行開始予定の新規路線の実施計画策定及び運行準備 (既存路線) ・「すぎ丸」運行経費の抑制のための事業者との協議などの努力					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域住民の理解・協力 - 住民説明会等の開催による、区からの情報提供と、住民からの意見収集					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	平成16年度は新規路線の運行開始が予定されており、そのためのバス車両購入、バス停設置、道路環境整備費等の初期投資が見込まれ				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		登録制置場等運営				整理番号	617		枝番号				
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	686		
係名					自転車対策係					上位施策名		No	
予算事業名					自転車駐車場等維持運営					コード		56250	
										自転車問題の解決		7	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則						
	登録制自転車置場等の利用者												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				道路上等に暫定的に設置している登録制自転車置場等の運営 (利用登録の申請受付・審査、登録証の発行、置場整理員の配置)		活動指標名(式)						
						(1) 登録台数							
						(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				通勤・通学で駅に乗り入れる自転車を登録制自転車置場等に収容し、放置自転車を防止する。		成果指標名(式)							
						(1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗り入れ自転車台数(登録制自転車置場等の設置駅))							
						(2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	年度						
指標	活動指標(1)		台	7703	7,942	7,180	7,449	7,560					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	25.26	24.42		22.82						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	51,828	43,089	33,091	32,183	49,733	特記事項				
	(内)委託費		千円	195	156	2,476	1,559	15,125					
	職員数(正規 非常勤)		人	4.90	3.86	3.36	3.61	3.64					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	44,507	35,060	30,519	32,790	33,062				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	96,335	78,149	63,610	64,973	82,795					
	単位あたりコスト ÷		円	12,506	9,840	8,859	8,722	10,952					
	財源	受益者負担分		千円	29,462	28,996	26,660	28,038	16,004				
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	29,462	28,996	26,660	28,038	16,004				
		差引:一般財源 -		千円	66,873	49,153	36,950	36,935	66,791				
受益者負担比率 ÷		%	30.6	37.1	41.9	43.2	19.3						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台である。また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じ平成13年度には9,023台、14年度は8,485台である。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・ 本来、道路である場所を暫定的に自転車置場として利用しているため、環境への影響(美観など)や、通行スペースを狭くしている。 ・ 距離制限や利用要件による制限をせず、だれでも登録できるようにしてほしい。										
	今後の予測		登録制の置場などは本来、道路や公園としての場所を使用しているため、自転車駐車場に適した用地や施設の確保ができたところから登録制自転車置場等は順次廃止し、有料制自転車駐車場にする。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	103.7	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	97.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	高円寺北自転車置場の夜間警備委託は、競争入札の結果約1,000千円節減できた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	(仮称)高円寺北自転車駐車場の1期工事が15年1月に完了した。現在、道路に面していない1期工事完成部分を置場として使用しているため、防犯の観点から、夜間警備員を配置している。約12,000千円委託料を増額した。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由) ▼	理由：有料制自転車駐車場の整備ができていない駅周辺では、道路上等であるとはいえ、放置自転車の抑止に役立っている。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である ▼	理由：登録制置場は、主に道路上に設置されており、また個人情報を扱う登録審査もあるため、区で行う必要がある。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他 ▼	理由：登録制置場を増加させる考えはない。放置自転車の撤去作業や放置防止活動など、他の施策により放置自転車の減少をすすめる。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由：登録制置場の運営に1台あたり8,722円(H14実績)がかかっているが、登録手数料として4,000円を徴収している。負担割合が低い。他区・市の均衡や、道路を使用しても道路使用料を徴収することができないことを考えると見直しの余地はない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由：収容台数の関係から、個々の駅ごとに駅からの距離制限を行っている。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由：事業経費の大部分を置場整理委託料(約2400万円、15年度)が占めている。これは朝夕の置場整理員の経費である。自転車ラックのない道路上等の置場に収納するためには整理員が必要であり、朝夕の混雑時しか配置していないため、これ以上コストを下げる余地はない。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 14年度の登録制置場は7駅に設置している(上井草、高円寺、西永福、高井戸、富士見ヶ丘、代田橋、八幡山)。高円寺駅は16年度に有料制自転車駐車場へ移行するため登録制置場は廃止する。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 高円寺駅の登録制置場が15年度末で廃止するため、高円寺駅の置場整理委託料と夜間警備委託料を削減する。しかし、有料制自転車駐車場の管理委託等が増額する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		有料制駐車場運営				整理番号	618		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	687	
係名 自転車対策係					上位施策名				No		
予算事業名 自転車駐車場等維持運営					コード	56250		自転車問題の解決		7	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区立自転車駐車場条例 (3) 杉並区立自転車駐車場条例施行規則						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 有料制自転車駐車場の利用者										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) (財)自転車駐車場整備センターと(社)杉並区シルバー人材センターに委託して有料制自転車駐車場を運営している。				活動指標名(式) (1) 収容可能台数 (2) 平日平均利用率(平日の駐車台数(延べ)÷平日の年間収容可能台数)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 誰でも利用できる有料制自転車駐車場に自転車を収容し、放置自転車を防止する。				成果指標名(式) (1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(有料制自転車駐車場の設置駅)) (2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		台	20896	20,917	21,517	20,937	21,947			
	活動指標(2)		%	61.1	62.2		67.9		80	84.9	
	成果指標(1)		%	33.55	32.91		29.86				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	538,589	508,217	492,259	486,696	494,764	特記事項		
	(内)委託費		千円	313,952	271,850	240,071	239,379	15,125	駐車場箇所数 31箇所13駅(10年度末) 32箇所14駅(11年度末) 32箇所14駅(12年度末) 32箇所14駅(13年度末) 33箇所14駅(14年度末)		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.35	1.43	1.32	1.42	1.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,262	12,989	11,990	12,898			11,808
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	550,851	521,206	504,249	499,594	506,572			
	単位あたりコスト ÷		円	26,362	24,918	23,435	23,862	23,082			
	財源	受益者負担分		千円	442,683	451,171	406,636	408,058			408,882
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	442,683	451,171	406,636	408,058			408,882
差引:一般財源 -		千円	108,168	70,035	97,613	91,536	97,690				
受益者負担比率 ÷		%	80.4	86.6	80.6	81.7	80.7				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台である。また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じ平成13年度には9,023台、14年度は8,485台である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・利用率が低く有効活用されていない自転車駐車場が多い。・荻窪北口周辺の自転車駐車場は、定期利用の待機者が多く、1日利用も満車で利用できない場合がある。・利用料金が低い。無料置場をつくれ。								
	今後の予測		現在14駅に有料制自転車駐車場を設置している。現在登録制の駅について、用地・施設の確保ができたところから、有料制自転車駐車場に移行していく。また、需要が多いJR中央線沿線駅の自転車駐車場を増やしていく。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	97.3	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	98.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	荻窪南第二自転車駐車が現在改築工事中であるため、臨時駐車を開設した。改築前は850台の収容台数があったが、臨時置場には275台しか収容台数が確保できず、収容台数が未達である。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14年度、3箇所の自転車駐車場に自動券売機を設置した(浜田山南、下井草北第一、方南町東)。3箇所の駐輪場の管理員は常駐せず、巡回管理としたため、委託料を削減した。 ・ 14年度に使用料金を値下げしたことにより、利用率が向上した。 ・ 値下げにより一日使用が増加し、一日使用券(需用費)が増加した。 				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車を放置させないためには、その置場を確保する必要がある。誰でも利用できる有料制自転車駐車を確保するにより、放置自転車防止に貢献している。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 鉄道事業者が高架下などに設置した機械式の駐輪場は、立地条件も良いため、利用率が高い。しかし、これらは短時間の買い物客を対象としたものであるため、通勤・通学のための定期契約など、現在の区立駐車場と同様の条件では経営が難しい。民間業者に打診したところ、受託できないとの回答であった。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由: 14年4月から自転車駐車場使用料金を値下げし、それが利用率向上に結びついた。しかし、受益者負担の原則からこれ以上の引き下げはできないため、街頭指導や撤去活動により駐車場の利用へ誘導することが必要である。 しかし、自転車の乗入れ台数も多く、需要がある荻窪駅などでは、用地確保がむずかしく、現行の駐輪場は飽和状態であるため、これ以上の利用率向上は期待できない。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 14年4月から、使用料金を引き下げた(定期は平均6.7%減、一日は150円から100円)。受益者負担比率は低下したが、駐車場の利用率が62.2%から67.9%に向上した点を重視して、当面この料金体系を維持する。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか できる(改革案の概要へ)	理由: 放置自転車の撤去及び放置防止指導を強化し、駐車場に誘導することで成果を上げることができる。しかし、荻窪駅の駐車場は飽和状態であるため、これらの駐車場に誘導することはできない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 14年度から日曜・祝日の管理員の配置をやめて、委託経費を削減した。また、現在3箇所、15年度中に1箇所、自動券売機を設置し巡回管理にするが、それ以外の駐車場は施設の構造や無人化による危険性が考えられるため、コスト削減の余地はない。			
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・ 16年4月に高円寺駅の登録制を有料化し、荻窪南第二自転車駐車場の改築が完了し、収容台数が増加する。今後は、需要の多いJR中央線に駐車場を増設する。 ・ 利用率の低い既存の自転車駐車場を活性化するためには、放置自転車の撤去及び街頭での放置防止指導の強化により、放置自転車を駐車場に入れるよう誘導する。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 需要の多いJR中央線には、駐車場を開設する用地や施設の確保が難しい。 ・ 放置自転車の撤去及び街頭での放置防止指導の強化のためには、経費がかかる。現に、西荻窪駅では毎日のように街頭指導と撤去を行い、駐輪場の利用率も向上しているが、撤去等に西荻窪駅だけで1,500万円の経費がかかっている。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 高円寺駅が登録制から有料制自転車駐車場に移行するため、管理委託や夜間警備委託の経費が増加する。また、荻窪南第二自転車駐車場の改築が完了するため、管理委託、夜間警備委託の経費が増加する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置自転車の撤去・返還・処分				整理番号	619		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	688	
係名		自転車対策係			上位施策名				No		
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250		自転車問題の解決		7		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則				
	放置自転車及び放置自転車の所有者										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		放置防止禁止区域内に放置された自転車の撤去、集積所への移送、集積所での保管、所有者への返還、引き取りのない自転車の処分（再利用）。				活動指標名(式)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		放置自転車を撤去し、放置自転車のない安全で快適なまちをつくる。				成果指標名(式)					
						(1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺)) (2) 置場外自転車台数(放置台数)					
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	17年度		
指標	活動指標(1)		台	64,716	61,871	60,000	55,545	60,000			
	活動指標(2)		台	46,365	42,338	42,000	33,589	42,000			
	成果指標(1)		%	31.84	31.14		28.88				
	成果指標(2)		台	9,189	9,023		8,454	7,669	4,511	187.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	113,549	121,501	123,551	125,579	130,224	特記事項		
	(内)委託費		千円	51,392	52,150	51,690	52,687	72,842	活動指標(2)の返還台数は、10月頃確定(約6割の返還率とみた)		
	職員数(正規 非常勤)		人	7.26	6.00	4.68	5.03	5.07			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	65,943	54,498	42,508	45,687	46,051		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	179,492	175,999	166,059	171,266	176,275			
	単位あたりコスト ÷		円	2,774	2,845	2,768	3,083	2,938			
	財源	受益者負担分		千円	89,552	82,294	132,230	94,915	92,610		
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	89,552	82,294	132,230	94,915	92,610		
差引:一般財源 -		千円	89,940	93,705	33,829	76,351	83,665				
受益者負担比率 ÷		%	49.9	46.8	79.6	55.4	52.5				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台である。また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じ平成13年度には9,023台、14年度は8,485台である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・撤去を頻繁に行ってもらいたい。・土曜日、日曜日、平日夕方方も撤去してもらいたい。・自分は自転車を放置した意識はない。・短時間しか置いていなのに撤去された。・他の自転車はそのままなのに、自分の自転車だけ撤去された。								
	今後の予測		年間約60,000台の台数(都内で上位)を撤去しているが、これだけの撤去活動を行っても駅周辺の放置自転車はなくなっていない。自転車を放置することは悪いことであるという個人の意識がなければ、放置自転車はなくなる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	92.6	活動指標(2)の14年度達成率%	80.0	14年度予算執行率%	101.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撤去台数が60,000台を下回った理由としては、13年度末で清水自転車集積所(収容台数2,000台)を廃止し、和泉自転車集積所(収容台数1,070台)を開設したが、収容台数が減少したためである。 ・ 撤去手数料を14年4月から2,000円から3,000円に引き上げたこと、清水集積所という駅から比較的近距離な集積所がなくなったこと、新車の販売価格が低下したこと、などから返還率は低下している。 					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14年9月から自転車保管システムを稼働させたことにより、集積所の委託人員を削減した。 ・ 15年4月から西荻窪駅の街頭指導、撤去作業、上井草四丁目自転車集積所での返還業務を一本化して委託した。 					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか	理由: 駅周辺に放置した自転車は撤去されるという意識を区民に持ってもらうことで、放置自転車の抑制になっている部分はある。 しかし、撤去されても自転車の放置が悪いことだという意識がなければ、放置自転車はなくなるしない。撤去の強化とともに、自転車利用のルール・マナーの周知に努めなければならない。
	貢献度 大(理由) ▼	
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか	理由: 現在、区職員の立会のもとに撤去作業を行っている。民間業者のみで撤去作業を行っている区もある。しかし、敷地内か否かの判定が難しいこと、撤去という公権力を行使することから、区職員による立会・監督の下、民間業者に委託して作業を行う。
	民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	
	(3) 成果を向上させることができますか	理由: 14年度に清水自転車集積所を閉鎖し、和泉自転車集積所を開設したが、保管台数が約1,000台減少した。JR中央線沿線の放置自転車が多いため、新たな自転車集積所を確保して、撤去台数を増やす必要がある。
	できる(へ) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他 ▼	
(4) 受益者負担の見直し余地はありますか	理由: 撤去・返還・処分や放置防止活動等にかかった経費から算出すると、1台当たり4,052円(昨年度は3,789円)であった。14年度に撤去手数料を2,000円から3,000円に引き上げた。手数料引き上げが返還率が低下につながるため、今後、経費と手数料額との大幅な乖離が生じた段階で見直すこととし、当面は現行の手数料額とする。	
ない(理由) ▼		
(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか	理由: 放置自転車があるかぎり、撤去を行う必要がある。	
対象を変更するのは適切でない(理由) ▼		
(6) コストを下げる余地はありますか	理由: 西荻窪駅は街頭指導から返還業務まで一体で委託することにより、当初予定していた価格より700万円程度安くできた。 条件が整った駅から一体で委託できれば、この方法をとっていく。	
ある(民営化・外部委託化) ▼		

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 17年度の目標値(13年度撤去台数の50%減)を目指すため、今以上の撤去活動を行うとともに、放置防止啓発を行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・今以上の撤去台数を確保するためには、新たな集積所の確保が必要である。また、利用率の低い自転車駐車場の転用も検討する。 ・放置防止啓発のために小学校の自転車教室での自転車の「とめ方」の教育や、中学校の体験学習を積極的に受け入れ、この年代からルール・マナーの向上に努める。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	新たな集積所の確保ができない限り費用の増減はない。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止活動				整理番号	620		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	689		
係名		自転車対策係			上位施策名				No			
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250	自転車問題の解決				7		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 駅周辺の放置禁止区域に自転車を乗り入れる利用者											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 放置禁止区域の路面ステッカーの貼付、看板の修理等。 また、例年10月に10日間「放置自転車クリーンキャンペーン」を実施。ポスターの掲出、駅でのチラシ、ティッシュペーパー等の配布、放置防止指導、撤去作業を行なう。チラシ配付等の啓発活動は、駅周辺の町会、商店会、鉄道事業者とともに行なっている。				活動指標名(式) (1) 路面ステッカー貼付枚数 (2) クリーンキャンペーン期間中の撤去台数							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 駅周辺の放置禁止区域を、放置自転車がない状態にする。				成果指標名(式) (1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺)) (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標(1)			586	685	550	880	550				
	活動指標(2)			2543	2,251		2,021					
	成果指標(1)			31.84	31.14		28.88					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,788	9,895	6,314	6,686	6,125	特記事項			
	(内)委託費		千円	2,714	3,704	2,869	3,547	2,869				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.68	0.57	0.48	0.52	0.52				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	15,259	5,177	4,360	4,723	4,723				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	21,047	15,072	10,674	11,409	10,848				
	単位あたりコスト ÷		円	35,916	22,003	19,407	12,965	19,724				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	21,047	15,072	10,674	11,409	10,848					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台である。また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じ平成13年度には9,023台、14年度は8,485台である。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・放置禁止区域の表示がわからなかったため自転車を放置した。・ロープなどで放置できないようにしてほしい。・私道だが放置自転車を撤去してもらいたい。									
	今後の予測		放置禁止区域の若干の変更はある。その際に案内看板の設置が必要となる。看板の落書き等も多く維持補修も必要である。また、路面ステッカーは劣化のため表示が薄くなる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	160.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	105.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	放置禁止区域にある路面ステッカーや看板の維持補修だけでなく、自転車駐車場の場所がわかりにくい、という苦情が多いため、自転車駐車場への案内用路面ステッカーを作成した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・ 自転車駐車場がわかりにくい、という声があったため、新たな誘導サインや路面ステッカーを設置した。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 放置禁止区域であることや、自転車を放置することは条例に違反することを周知するためにも、看板や路面ステッカー、クリーンキャンペーンは必要である。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区条例に基づき放置禁止区域の指定をしているため、区が看板等を設置している。 また、クリーンキャンペーンは全国の自治体で実施しているため、杉並区も一自治体としてキャンペーンを行なっている。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 放置禁止区域を明示するだけでなく、新高円寺地下以外にも、自転車駐車場への誘導のための路面ステッカーを作成し、放置自転車を減少させる。 また、今後も小学校に協力要請を続け、小学生のクリーンキャンペーンへの参加を続けていく。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 広く区民等に放置自転車の防止を呼びかけるための方策であるため、特定の対象者による受益者負担は考えていない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 例年ある程度の看板、路面ステッカーの破損があるため、維持補修が必要である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 安価な路面ステッカーにすると破損が激しい。看板については一定の強度が必要なため、現状のもので継続していく。			
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 放置禁止区域や条例内容を示すだけでなく、放置防止を訴えるデザインにすることや、自転車駐車場への誘導のための看板等の設置箇所を増やすことで、ある程度の成果の向上ができる。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新たな看板等の設置には、街なみの景観との調和や、道路管理者との協議・承認が必要である。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止指導員・協力員				整理番号	621		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	690	
係名		自転車対策係			上位施策名				No		
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250	自転車問題の解決			7		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 駅周辺に乗入れる自転車利用者				(2) 杉並区自転車放置防止協力員要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 民間企業に委託して、放置自転車を防止するための呼びかけ、自転車駐車場等への案内・誘導のための放置防止指導員を配置している。 また、駅周辺の商店会等の会員を放置防止協力員として委嘱し、放置自転車の防止のために活動してもらっている。区は、ボランティア保険料、活動被服を負担している。				(3)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 自転車利用者が、自転車を放置しないようにする。				活動指標名(式)							
				(1) 放置防止指導員延人数							
				(2) 放置防止協力員活動駅数							
				成果指標名(式)							
				(1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺))							
				(2) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(協力員配置駅周辺))							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	年度		
指標	活動指標(1)		人	3,031	4,101	4,602	4,602	4,854			
	活動指標(2)		駅	4	4	4	10	10			
	成果指標(1)		%	31.84	31.14		28.88				
	成果指標(2)		%	32.90	27.70		29.17				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,066	26,514	29,302	25,948	30,337	特記事項		
	(内)委託費		千円	15,939	26,372	29,169	25,433	29,169			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.69	1.86	1.68	1.80	1.95			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,350	16,894	15,259	16,349	17,712		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	31,416	43,408	44,561	42,297	48,049			
	単位あたりコスト ÷		円	10,365	10,585	9,683	9,191	9,899			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	31,416	43,408	44,561	42,297	48,049				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台である。また、置場外自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じ平成13年度には9,023台、14年度は8,485台である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・ 放置防止指導員を増員して毎日配置してほしい。 ・ 指導員から高圧的に注意された。 ・ 指導員はただ立っているだけで何もしていない。 ・ 地元の住民や事業者が協力しないと放置自転車問題は解決しない。								
	今後の予測		JR阿佐ヶ谷駅では、15年4月から毎日放置防止指導員を配置している。14年4月の放置台数は1,632台、6月は1,463台であったのに対し、15年4月は1,245台、6月は799台と効果がみられる。放置防止のために人を配置することで、放置自転車の抑制になる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	250.0	14年度予算執行率%	88.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	・ 放置防止指導員は、1～2名を駅周辺に配置しても効果的でないため、放置の多いJR中央線の各駅に集中的に配置したため、達成率が低い。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	駅周辺の町会や商店会に働きかけ、14年度中に6駅(阿佐ヶ谷、井荻、新高円寺、西永福、高円寺、永福町)で活動が始まった。15年度はすでに高円寺南口、中野富士見町、下井草各駅に協力員組織が立ち上がった。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 指導員や協力員に注意されることで、自転車の放置を思いとどまる利用者もいるため、放置自転車をなくすためにはある程度有効な手段である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由: 駅利用の自転車利用者が放置をしないために指導員を配置している。駅利用者が自転車を利用していることから、鉄道事業者が放置防止指導員を配置することも必要である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由: 指導員数を増員し、JR中央線に限らず放置防止指導員を配置すれば効果があがる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 広く駅周辺に自転車を乗入れる利用者を対象にしているため、特定の個人に負担を求めることはできない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか できる(改革案の概要へ)	理由: 地域住民が放置防止協力員となって活動することが活発になれば、放置防止指導員の配置は少なくてすむ。 ただし、協力員は店主等が主体であるため、一日中活動することは不可能である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(民営化・外部委託化)	理由: 地域住民が放置防止協力員となって活動することが活発になれば、放置防止指導員の配置は少なくてすむ。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・ 阿佐ヶ谷駅の事例のように放置防止指導員を増員し、各駅に十分な人員を配置すれば、放置台数は減少する。今後も財源面を考えなら配置数を増やしていく。 ・ 久我山駅のように協力員が毎日のように活動している駅では、放置台数が減少する。協力員の活動駅を増やすとともに、既存の協力員組織の活性化は図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 指導員を今以上に配置するためには、財源措置が必要である。 ・ しかし、街頭指導だけでは効果があがらない。放置防止の啓発を無視したら撤去された、と思わせるよう撤去も併用して行う必要がある。 ・ 放置しないように呼びかけて自転車駐車場に誘導するが、荻窪駅のように駐車場が満車状態の駅では、徹底した指導が非常に難しい。自転車駐車場の確保が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 放置防止協力員の活動駅の増加に伴い、ボランティア保険や警告票などの経費が増加する。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営自転車駐車場育成補助				整理番号	622		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	691	
係名		自転車対策係			上位施策名				No		
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250	自転車問題の解決				7	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体				(2) 杉並区民営自転車駐車場育成補助金交付要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体に対して、その運営経費の一部を3年間補助する。				(3)						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体に対して、その運営経費の一部を3年間補助する。				活動指標名(式)							
				(1) 助成件数							
				(2) 助成台数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 自転車駐車場の不足している駅周辺で、民営自転車駐車場の安定的な運営を促す。				成果指標名(式)							
				(1) 自転車駐車場の維持費の削減							
				(2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	年度		
指標	活動指標(1)		件	1	1	1	0	0			
	活動指標(2)		台	173	173	297	0	0			
	成果指標(1)		千円	1,630	1,630	6,117	0	0			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	680	680	10,000	0	0	特記事項		
	(内)委託費		千円						成果指標(1)の算出方法		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.30	0.30	0.00	0.00	管理費補助基本額		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,542	2,725	2,725	0	0	9,000円...		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	固定資産税等		
	総事業費 ++		千円	5,222	3,405	12,725	0	0	421.96円...		
	単位あたりコスト ÷		円	5,222,000	3,405,000	12,725,000			+ = 9,421.96円...		
	財源	受益者負担分		千円						× 173台 1,630千円	
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	5,222	3,405	12,725	0	0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		いままでに補助した民間駐輪場は南阿佐ヶ谷の1件だけである。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		問い合わせが年に数件しかないので、あまり意見を聞く機会がない。								
	今後の予測		民間活力を導入するために今後も民営自転車駐車場育成補助制度は存続させる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	0.0	活動指標(2)の14年度達成率%	0.0	14年度予算執行率%	0.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	西荻窪駅北口に民営自転車駐車が建設され、補助金の交付を予定していたが、区立自転車駐車が14年4月から料金を引き下げたため、民間としては採算が合わず、自転車駐車場建設計画が撤回された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 区が直営で自転車駐車を整備する場合と比べると、後年度の維持経費が削減できる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 現状で、自転車駐車を整備しているのが区なので、民営への補助も区であれば現実に即した方法をとることができる。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 民間が行う駐輪場が経営的に成り立つか否かは、立地条件等が大きな要素を占めるため、駐輪場を建設するか否かは土地所有者の意向に委ねられる。 また、区立自転車駐車場の使用料金を14年4月から値下げしたため、民間の参入を阻害している方向にある。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 民営自転車駐車場は採算がとりにくいため、設置・運営に対しては補助が必要である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 要綱に要件があり、対象設定は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 実効性が薄れるので、補助金の額を下げることはできない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平成14年4月から区立自転車駐車場の使用料を値下げし、一日利用は出し入れ自由にしたことにより、民営自転車駐車場の参入を阻害している。 収益を上げるためには、一時利用の回転数を上げる必要があり、近くに安く、出し入れ自由な区立駐車場があれば経営を圧迫することになる。民間の参入が想定される駅には、区立の駐車場は作らないような方策が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現在のところ民営駐輪場を建設するという声が出ていない。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自転車等駐車対策協議会				整理番号	623		枝番号				
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	692			
係名		自転車対策係			上位施策名				No				
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250	自転車問題の解決				7			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 自転車等駐車対策協議会委員（区民、区議会議員、学識経験者、鉄道事業者、関係行政機関の職員）				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。				活動指標名(式)								
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 自転車対策について、区民、有識者、行政庁など各方面の関係者を参画させ、利害関係者相互の意思疎通と意識の高揚を図る。				成果指標名(式)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		回	4	2	2	1	2					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	31.84	31.14		28.88						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	571	312	392		132		392		特記事項	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.67	0.14	0.48	0.52	0.52					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,086	1,272	4,360		4,723		4,723		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 + +		千円	6,657	1,584	4,752		4,855		5,115			
	単位あたりコスト ÷		円	1,664,250	792,000	2,376,000		4,855,000		2,557,500			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	6,657	1,584	4,752		4,855		5,115				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		本協議会の答申により、平成10年2月に「杉並区自転車利用総合計画」が策定され、主たる目的は達成された。今後は、総合計画の推進、重要事項の調査審議を行っていく。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし										
	今後の予測		駐車対策に限らず、自転車に関する事項全般について諸問題を諮り、意見をいただく。この協議会には鉄道事業者も委員となっているため、鉄道事業者の協力を得ていくためにも、この協議会は存続する。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	50.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	33.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	特に急を要する付議案件がなかったため、2回目の開催を見送ったことによる。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由) ▼	理由：関係者らに幅広い意見を求め、施策を展開していくためには、協議会が必要である。 特に鉄道事業者との意見交換の場としても、必要と考える。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由：自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づく協議会であり、設置主体は区である。			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由：協議会には、その時々での自転車対策に係る課題を諮り、審議している。そこで出された意見をもとにして、区が各種の施策を実行する。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由：協議会は、区長の諮問機関として設置されたものであり、受益者負担の考えはない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由：対象である協議会の委員は、各関係者の代表であり変更することは適切でない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由：協議会の事業費は、主に委員報酬であり、また、従事職員も必要最低限に抑えているため、コストを下げる余地はない。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに)				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)高円寺北及び高円寺東高架下自転車駐車場建設			整理番号	624		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558			
係名		自転車対策係			上位施策名	No					
予算事業名		自転車駐車場等整備		コード	56500		自転車問題の解決	7			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) (高円寺北)2500台規模収容の自転車駐車場を整備する。平成13・14年度用地取得、平成14・15年度工事。 (高円寺東高架下)平成14・15年度工事。				活動指標名(式) (1) 整備台数 (2)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。				成果指標名(式) (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数(高円寺駅周辺) (2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		台					3,000	3,000	0.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	30.34	28.60		25.29				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,605	546,085	658,934	647,653	254,729	特記事項 (高円寺北)東京都市計画駐車場事業		
	(内)委託費		千円		7,779	1,520	1,327				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	1.20	1.30	1.40	1.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,358	10,900	11,808	12,716			10,900
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	7,963	556,985	670,742	660,369	265,629			
	単位あたりコスト ÷		円					88,543			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円		123,000	215,000	212,250			110,000
		特定財源計 +		千円	0	123,000	215,000	212,250			110,000
差引:一般財源 -		千円	7,963	433,985	455,742	448,119	155,629				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車駐車場需要に変化はない。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。								
	今後の予測		今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	98.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり、用地取得、第一期工事終了し、第二期工事中である。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	なし。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 一般公用の自転車駐車場の整備は、区が整備主体である。			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由: まだ工事中のため、成果が出ていない。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 当事業は、駅周辺の自転車利用者を対象としており、対象の設定は適切である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 15年度終了事業。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	15年度終了事業。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		荻窪南第二自転車駐車場改築				整理番号	625		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	695	
係名 自転車対策係					上位施策名				No		
予算事業名 自転車駐車場等整備					コード	56500		自転車問題の解決			7
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 1150台規模収容の自転車駐車場を整備する。平成13・14・15年度工事。				活動指標名(式) (1) 整備台数 (2)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。				成果指標名(式) (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数(荻窪駅南口周辺) (2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		台					1,150	1,150	0.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%		28.57		20.70				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		200,634	179,151	120,559	386,345	特記事項		
	(内)委託費		千円		32,010	932	767	3,207			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.60	0.70	0.40	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	5,450	6,358	3,633	2,725		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	206,084	185,509	124,192	389,070			
	単位あたりコスト ÷		円					338,322			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	206,084	185,509	124,192	389,070				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車駐車場需要に変化はない。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。								
	今後の予測		こんご、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	67.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり、工事中である。			
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	なし。			
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。		
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 一般公用の自転車駐車場の整備は、区が整備主体である。		
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由: まだ工事中のため、成果が出ていない。		
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。		
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 当事業は、駅周辺の自転車利用者を対象としており、対象の設定は適切である。		
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。		
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 15年度終了事業。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	15年度終了事業。		

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金			整理番号	626		枝番号			
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553			
係名		交通対策係			上位施策名			No			
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 平成14年度交通安全協会補助金交付要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 平成14年度杉並区交通安全協議会補助金交付要綱						
	・補助金・・・杉並・高井戸・荻窪交通安全協会、杉並交通安全協議会 ・分担金・・・杉並区交通安全のつどい主催団体(区・警察・交通安全協会)				(3) 地方自治法第2条第3項第8号						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ・各交通安全協会に対して、補助金を交付する。(交通安全協議会についても同じ) ・区、警察、交通安全協会共催で、杉並区交通安全のつどいを杉並公会堂で年1回開催する。				活動指標名(式) (1) 交通安全協会が交通安全啓発活動を実施した延べ日数 (2) 杉並区交通安全のつどい参加者数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) ・各種団体の事業に要する経費の一部又は全部を補助することで、交通事故防止を目的とした活動が積極的に実施する。 ・広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通安全の気運を盛り上げるための交通安全のつどいを開催する。				成果指標名(式) (1) 区内の交通事故件数 (2) 交通安全協会加入者・団体数							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標(1)		日	279	270	270	276	276			
	活動指標(2)		人	1,100	1,100	1,200	1,100	580			
	成果指標(1)		件	3,551	3,392		3,272				
	成果指標(2)		件	2,858	2,662		2,432				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,424	5,324	5,324	5,324	5,324	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.27	0.33	0.34	0.27			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,725	2,452	2,997	3,088	2,452			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	8,149	7,776	8,321	8,412	7,776			
	単位あたりコスト ÷		円	29,208	28,800	30,819	30,478	28,174			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	8,149	7,776	8,321	8,412	7,776				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・区内の交通事故件数 平成2年・・・1,749件 平成14年・・・3,272件 ・交通安全協会加入者・団体数 平成7年度・・・3,195人 平成14年度・・・2,350人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		補助金の増額要請がある。								
	今後の予測		今後、景気が回復せず不況が続くと、更に交通安全協会加入者・団体数が減少すると考えられる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	102.2	活動指標(2)の14年度達成率%	91.7	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	補助金は、杉並・高井戸・荻窪交通安全協会、杉並区交通安全協議会に交付した。また、杉並区交通安全のつどいを9月に杉並公会堂で開催した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	関係機関と杉並区交通安全のつどいの見直しを行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由：交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区内全域で地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施している交通安全協会の協力が必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由：区だけでは実施のできない地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施してもらうためにも、交通安全協会に対する補助金の交付は区が行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由：既に、交通安全協会員は協会運営費を負担している。また、杉並区交通安全のつどいの経費も分担金制をとり、各交通安全協会も経費を負担している。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由：広く区内で地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施している団体は、交通安全協会のみである。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更) ▼	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 補助金については、現状を維持する。 平成15年度から17年度までの杉並区交通安全のつどいについては、杉並公会堂が改修中のため、セシオン杉並を会場とするとともに、内容等を検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交通安全のつどいについては、警察・交通安全協会と企画の段階から見直す必要があるため、協議を行い、調整する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 杉並区交通安全のつどいについては、平成18年度より再び杉並公会堂を会場として開催する予定である。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発活動委託				整理番号	627		枝番号						
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	729				
係名					交通対策係			上位施策名		No					
予算事業名					交通安全運動推進			コード		61700		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		8年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項8号								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 交通安全対策基本法第18条第1・2・3項								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				違法駐車防止活動や高齢者に対する交通安全啓発活動等を委託する。		(3)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				・道路の適正な使用を啓発し、違法駐車を減少させる。 ・高齢者の交通安全意識を向上させ、高齢者の交通事故を防止する。		活動指標名(式)								
						(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数									
						(2) 交通安全啓発活動に参加した延べ人数									
						成果指標名(式)									
						(1) 区内における違法駐車台数									
						(2) 区内における高齢者の交通事故件数									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
							計画		実績		計画			年度	
指標	活動指標(1)		時間	181		181		181		181					
	活動指標(2)		人	367		467		355		355					
	成果指標(1)		台	3,358		2,975				2,903					
	成果指標(2)		件	477		440				478					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	494		494		495		494		495		特記事項	
	(内)委託費		千円	494		494		495		494		495			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30		0.27		0.33		0.34		0.27			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,725		2,452		2,997		3,088		2,452		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	3,219		2,946		3,492		3,582		2,947			
	単位あたりコスト ÷		円	17,785		16,276		19,293		19,790		16,282			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	3,219		2,946		3,492		3,582		2,947				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・区内の違法駐車台数 平成8年…3,722台 平成14年…2,903台 ・区内の高齢者人口 平成8年…74,172人 平成14年…88,236人 ・区内における高齢者の交通事故件数 平成8年…214件 平成14年…478件												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		二輪車の違法駐輪が多くなってきている。												
	今後の予測		一人ひとりの交通安全意識の向上がなければ、今後も違法駐車の問題は発生すると考えられる。一方、今後、更に高齢者人口が増加(平成17年予測91,651人)し、高齢者の交通事故も増加すると考えられる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	99.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	地域交通安全活動推進委員協議会は、違法駐車防止活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を委託契約どおり実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	特になし。 なお、平成15年度予算では、高齢者を対象とした交通安全教室を実施する。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由：違法駐車が渋滞や交通事故が発生する1つの原因であること、また、高齢者の交通事故が急増していること、それらを改善するために実施する交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由：違法駐車が交通事故の発生する1つの原因であることから、違法駐車の問題に対しては、各警察署の取り締まりとともに、区も取り組むべきものである。また、高齢社会が進展していく中、高齢者の交通事故が増加することは確実であり、高齢者の交通事故防止の施策を実施する必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由：事業の性質上、受益者に負担を求めることはできない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由：民間に委託した場合、現在の金額では同様の活動をするにはできない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由：実際に活動した時間に対してのみ、対価を払っているため、コストを下げることはできない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) より効果があがるように、委託契約の内容を検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託契約の内容を検討するため、地域交通安全活動推進委員協議会と協議し、調整する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現行委託契約による交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために有効である。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発用品の購入と配布				整理番号	628		枝番号		
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	730	
係名		交通対策係			上位施策名				No		
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700	交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民及び道路利用者の生命・財産				(2) 交通安全対策基本法第18条第1・2・3項						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 交通安全啓発用品を購入し、区民に配布する。 横断歩道用横断幕や表示幕を作製し、区内の道路に掲示する。				(3)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、正しい交通ルール・マナーを実践してもらう。				活動指標名(式)						
				(1) 交通安全啓発用品配布数							
				(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数							
				成果指標名(式)							
				(1) 交通安全啓発用品配布数 / 杉並区民人口							
				(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数 / 区内の道路延長(km)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	年度		
指標	活動指標(1)		個	30,950	32,800	25,500	33,983	25,500			
	活動指標(2)		流	88	85	94	75	84			
	成果指標(1)		%	6	6	5	7	5			
	成果指標(2)		枚 / km	12	11	13	10	11			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,006	5,403	5,445	5,440	5,445	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	2.03	1.74 0.50	2.09	2.13	1.71			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	18,438	15,804	18,983	19,347	15,532		
		非常勤職員分		千円	0	1,468	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	23,444	22,675	24,428	24,787	20,977			
	単位あたりコスト ÷		円	757	691	958	729	823			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	23,444	22,675	24,428	24,787	20,977				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・区内の交通事故件数 平成8年…2,068件 平成14年…3,272件 ・杉並区民の人口 平成8年…501,316人 平成14年…508,748人 ・区内の道路延長(km) 平成8年…746km 平成14年…750km								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		交通ルール・マナーをもっと周知・徹底してもらいたい。 交通安全啓発用品の配布数を増やしてもらいたい。								
	今後の予測		車両保有台数・運転免許保有者数の増加や交通量の増加から、道路交通は過密・混合化が生じ、また、生活様式の変化、生活の24時間化、更に基本的な交通ルール・マナーの欠如が複雑に絡み合い、厳しい交通環境が続くと考えられる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	133.3	活動指標(2)の14年度達成率%	79.8	14年度予算執行率%	99.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	横断歩道用横断幕や標示幕による啓発だけでなく、交通安全啓発用品を購入し、区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成15年度も、環境にやさしい素材を使用した啓発用品として、ランドセルカバーを購入する。また、小学生・高齢者対象の交通安全教室(14年度で15回開催、のべ約960名が参加)においては、反射材等の実用性のある啓発用品を配付した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼		理由: 交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区民及び道路利用者の交通安全意識の向上が不可欠である。そのためには、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施する必要がある。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼		理由: 交通事故から区民及び道路利用者の生命・財産を守るのは、区の仕事である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼		理由: 事業の性質上、受益者に負担を求めることはできない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼		理由: 本事業は、区民の生命・財産を対象としており、その対象設定は適切である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼		理由: 啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなる。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 引き続き、環境にやさしい素材を使用した啓発用品を購入する。 より効果のある実用性が高い啓発用品を購入する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 環境にやさしい素材を選定する必要がある。 より効果のある実用性が高い啓発用品の選定が必要となるので、警察、交通安全協会と協議する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施する必要がある。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		上井草四丁目自転車集積所建設				整理番号	630		枝番号	
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	
係名		自転車対策係			上位施策名				No	
予算事業名		自転車駐車場等整備		コード	56500	自転車問題の解決				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施工規則					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平成14年度工事				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 放置自転車の撤去スペースを確保することにより、放置のない環境を整える。				成果指標名(式)					
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		15年度		
指標	活動指標(1)		台			920	830	830	110.8	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円				9,735		特記事項 当初は15年度の計画であったが、前倒しで14年度に施工した。	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人				0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	2,725	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	0	12,460	0		
	単位あたりコスト ÷		円				13,543	0		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	12,460	0			
受益者負担比率 ÷		%				0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車集積所需要に変化はない。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。							
	今後の予測		今後、引き続き自転車集積所需要に変化はないと予測される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり、工事竣工。		
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	なし。		
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	自転車集積所の整備は放置自転車対策に不可欠である。	
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	一般公用の自転車集積所の整備は、区が整備主体である。	
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	撤去活動との一体性が必要である。	
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	自転車集積所の整備に関しては、受益者負担の考えはない。	
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	当事業は、駅周辺の自転車利用者を対象としており、対象の設定は適切である。	
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。	
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合		
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 15年度終了事業		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 15年度終了事業		

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		下井草北第二自転車駐車場拡張				整理番号	631		枝番号	
所属部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	
係名		自転車対策係			上位施策名			No		
予算事業名		自転車駐車場等整備		コード	56500		自転車問題の解決			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平成14年度用地取得、平成15年度工事。				活動指標名(式) (1) 整備台数 (2)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。				成果指標名(式) (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数(下井草駅周辺) (2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		台					130		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	47.24	46.94		51.16			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			71,665	71,655	8,000	特記事項 当初は15年度に用地取得及び工事を計画していたが、前倒して14年度に用地取得を行った。	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人				0.15	0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	1,362		2,725
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	0	0	71,665	73,017	10,725		
	単位あたりコスト ÷		円					82,500		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	71,665	73,017	10,725			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自転車駐車場需要に変化はない。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。							
	今後の予測		今後も引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり、工事中である。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	なし。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	一般公用の自転車駐車場の整備は、区が整備主体である。			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	まだ工事中のため、成果が出ていない。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	当事業は、駅周辺の自転車利用者を対象としており、対象の設定は適切である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 15年度終了事業				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 15年度終了事業				